

保護者に協力をお願いして、家庭で出た廃材(お菓子の空き箱やトイレトペーパーの芯等)を集めました。

予想以上にたくさんの素材が集まりました。

当日は、ある程度素材の種類ごとにコーナー分けし、そこから子どもたちが自由に素材を選んで何かを作れる環境を構成しました。

また、何を作ろうかまだ自分なりのイメージを持つのが難しい子どもを想定し、見本を見ながらクレープを作るコーナーや、シールを貼るだけで楽しめるコーナーも作り、なるべく皆が楽しめるように配慮しました。

活動が始まると真剣な表情で素材を様々に組み合わせてみたり、用意されていたテープやボンドでそれを貼り合わせたりと、その子なりに工夫しながら楽しんでいる姿が見られました。

しばらくして作品が出来上がると「先生見て！」と満足気に保育士に見せに来てくれた子どもが多くいました。

そんな子どもたちを保育士は静かに見守り、子どもがどうしても上手く出来ないときや要望があったときのみ手伝うようにしました。

子どもたちそれぞれが満足して活動が終わる頃には、その子オリジナルの素敵な作品がたくさん出来上がり、皆大好きなパパやママへのお土産にしていましたよ。



真剣な表情です…。



鼻歌を歌いながら素材を選んでいきます(笑)



好きなコーナーを選んで創作し、もう十分に満足した子どもは隣の部屋に行って絵本を読んだり、お絵描きをして過ごしていました。



クレープ作りのコーナーも人気でした。